

令和3年 労働災害発生状況 (令和3年7月末現在)

(休業4日以上)の死傷者数

古河労働基準監督署

業種別

業種	3年		2年		同期比	
	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品	17	10		7	
	木材・木製品		1		-1	
	化学工業	3	3			
	金属製品	11	8		3	
	一般・電気・輸送用機械	1	6	9	1	-3
	その他	14	9		5	
小計	1	51	40	1	11	
建設業	土木工事	2	6		-4	
	建築工事(木造除く)	2	3		-1	
	木造建築工事	3	1		2	
	その他の工事	2	1		1	
小計	9	11		-2		
陸上貨物運送事業	21	1	21		-1	
畜産業						
小売業	10	2		8		
社会福祉施設	5	3		2		
飲食店	4	1		3		
その他	1	14	15	1	-1	
計	2	114	1	93	1	21

熱中症予防行動

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する

3 こまめに水分補給しましょう

- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

2 適宜マスクをはずしましょう

- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

4 日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

月別

3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	16	(1) 11	26	14	(1) 20	18	9						(2) 114

年齢別

年齢別	件数	率(%)
～19歳	3	2.6%
20～29歳	11	9.6%
30～39歳	(1) 19	16.7%
40～49歳	21	18.4%
50～59歳	28	24.6%
60歳～	(1) 32	28.1%

規模別

事故の型別

業種	規模	規模別				墜落・転倒	転倒	激突され	巻込まれ・挟まれ	こ切すれ	交通事故	動作の反動	その他	合計
		九人	四一人	九一人	五一人									
製造業	食料品	2	2	4	9	3	7	1	1			5	17	
	木材・木製品													
	化学工業	1	1	1		1						2	3	
	金属製品	1	7	2	1		2	6				3	11	
	一般・電気・輸送用機械		2	2	2		2	(1) 2				2	(1) 6	
	その他	4	4	6		3	1	2	1			1	6	
小計	8	16	15	12	7	11	1	(1) 11	2		1	18	(1) 51	
建設業	土木工事		2						1			1	2	
	建築工事(木造除く)	2							2				2	
	木造建築工事	3							1			2	3	
	その他の工事	2				1						1	2	
小計	7	2			1			1	3			4	9	
陸上貨物運送事業	3	11	4	3		5	2	1	1		7	5	21	
畜産業														
小売業		3	3	4			3	2	1	1	3		10	
社会福祉施設		1	2	2		1			1		2	1	5	
飲食店	2	2					2					2	4	
その他		9	2	3	(1) 3	2			3	1	1	4	(1) 14	
計	20	44	26	24	(1) 17	20	2	(1) 15	10	2	14	34	(2) 114	

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、()内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。